

大久保満彦 おほくぼ みつひこ 社會福祉學者。明治二十九年七月二十四日宮城縣

生れ（一九〇一）。昭和五年渡應義塾東京大學經濟學部卒業。東京市社會局、

中央社會事業協會勤務を経て、東京都民生局兒童福祉司、中央兒童福

祉研究會委員、青少年問題協議會委員など。

著書『母と共に語る』として青少年の不良化を防ぐの・附、『兒童

憲章』解説』（昭和二十六年）、『愛を飢える子供』、『愛を飢える子供

—兒童福祉の技術と實際』（昭和二十六年）等。

愛を飢える子供 大久保満彦著 技術と實際
母と共に語る 兒童憲章・母の讀本

母と共に語る
—どうして青少年の不良化を防ぐか—
附、兒童憲章の解説
大久保満彦著



推薦 兒童局 厚生省 理想社

推薦者 内藤 誠次氏
高島 嚴氏
谷川 貞夫氏
守屋 東氏
伊藤 敏子氏
竹山 浩氏

この書は、愛を飢える子供の不良化を防ぐための、母の讀本として、最も重要な一冊である。著者は、青少年の不良化の原因を、愛の不足に求め、母の愛情をこまめに注ぐことの重要性を説く。また、愛を飢える子供の心理状態を詳しく説明し、母がどのようにして愛を注ぐべきかを具体的に示している。この書は、母の愛情をこまめに注ぐことの重要性を説く。また、愛を飢える子供の心理状態を詳しく説明し、母がどのようにして愛を注ぐべきかを具体的に示している。